

令和 7 年度持続可能で循環型であるファッションに関する検討会 開催要綱

1. 目的

ファッション産業は国際的にも環境負荷が大きい産業と指摘されており、サステナブルなファッションが重要であるという認識と企業等による具体的な活動は、国際的に急速に広がっている。

第五次循環型社会形成推進基本計画（令和 6 年 8 月閣議決定）においては、製品ごとの方向性の一つに「繊維製品（ファッション）」を位置づけられ、家庭から廃棄される衣類の量について 2030 年度までに 2020 年度比で 25%削減を目指すとともに、「産業界とともに適量生産・適量購入に転換し、リペア等による長寿命化の促進、適正なリユース・リサイクルのための回収、分別、設計・製造、販売における資源循環システムの構築に向けた必要な措置を講じる等、「サステナブルファッション」実現に向けた取組を行う。」ことが示された。

上記のような状況も踏まえて、本検討会では、我が国における循環型ファッションの推進及び衣類の廃棄量の削減に向けた方向性について幅広く検討し、「循環型ファッションの推進に向けたアクションプラン（仮称）」の取りまとめを行うことを目的とする。

2. 名称

本検討会は「令和 7 年度持続可能で循環型であるファッションに関する検討会」と称する。

3. 検討事項

本検討会では、以下に掲げる事項を検討する。

- （1） 循環型ファッションの推進及び衣類の廃棄量の削減に向けた検討の方向性に係る事項
- （2） その他、循環型ファッションの推進に関して必要となる事項

4. 組織等

- （1） 本検討会の事務局は環境省環境再生・資源循環局資源循環課とする。なお、必要に応じて三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社が事務局の補助を行うものとする。
- （2） 本検討会は委員 7 名で構成する。
- （3） 本検討会に座長を置く。座長は、本検討会を総理する。
- （4） 座長は、検討会に、必要に応じて有識者を招聘し、意見を聞くことができる。
- （5） 委員は、環境省環境再生・資源循環局資源循環課の同意を得て三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社が委嘱する。
- （6） 委員の委嘱期間は、三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社が委嘱した日から当該日の属する年度の末日までとする。

5. 開催時期・回数

令和7年10月～令和8年3月までに3回程度の開催とする。

別途、本検討会に紐づくワーキンググループ（非公開）を期間中に1回程度開催する。

6. 審議内容等の公開等

- （1）本検討会は、原則公開で行うこととし、検討会資料も原則公開とする。
- （2）競争上の地位その他の利益を害するおそれがある場合、内部情報が含まれること等によりヒアリング先の利益を害するおそれがある場合等については、座長の了承を得た上で、検討会資料を非公開とする。
- （3）毎会議後、議事要旨を作成し、関係者に確認を得た後に公開することとする。
- （4）議事要旨の扱いは検討会資料と同様とする。

7. 庶務

本検討会の庶務は、環境省環境再生・資源循環局資源循環課の同意を得て三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社において処理する。

以上

検討会の設置趣旨

検討会の目的

- 第5次循環型社会形成推進基本計画では、製品ごとの方向性の一つに「繊維製品（ファッション）」が位置づけられ、家庭から廃棄される衣類の量について2030年度までに2020年度比で25%削減を目指すとともに、「産業界とともに適量生産・適量購入に転換し、リペア等による長寿命化の促進、適正なリユース・リサイクルのための回収、分別、設計・製造、販売における資源循環システムの構築に向けた必要な措置を講じる等、「サステナブルファッション」実現に向けた取組を行う」ことが示された。
 - ✓ 特に生活者に係る側面として、2030年の削減目標を着実に達成するための手軽に衣類を回収に出しやすい環境づくり、回収した衣類を適切に循環させるシステム構築を通じて、循環型ファッションを更に推進することが望まれる。
- 上記のような状況も踏まえて、本検討会では、我が国における循環型ファッションの推進及び衣類の廃棄量の削減に向けた方向性について幅広く検討し、**「循環型ファッションの推進に向けたアクションプラン（仮称）」の取りまとめ**を行うことを目的とする。
- また、マテリアルフロー・KPIに関する検討を行うワーキンググループ（1回、非公開、委員4名）を開催し、繊維製品における資源循環ロードマップに示されたKPIの達成に向けた進捗確認のあり方等の検討を行う。

検討委員（★：WG委員）

※敬称略・五十音順

座長	田崎 智宏（国立環境研究所 資源循環領域 資源循環社会システム研究室 室長） ★
委員	天沢 逸里（早稲田大学 カーボンニュートラル社会研究教育センター 准教授（康師傅寄付チエ）） ★
	織 朱實（上智大学大学院 地球環境学研究科 教授）
	鬼沢 良子（特定非営利活動法人持続可能な社会をつくる元気ネット 理事長）
	木村 照夫（京都工芸繊維大学 名誉教授）
	中谷 隼（東京大学大学院 工学系研究科都市工学専攻 准教授） ★
	矢野 順也（京都大学 環境安全保健機構環境管理部門 准教授） ★

検討会の議題（案）

- 全3回の会議（対面+オンラインの併用、公開）において、以下の議題（案）を想定。

議題（案）	
第1回 10月29日 （水） 13:00~15:00	<u>（1）衣類の資源循環システム構築に向けた現状に関する検討</u> ✓ 資源循環システム構築に向けた政策の検討状況 ✓ 回収、分別・繊維再生等に関する現状 <u>（2）業界関係者へのヒアリング</u> ✓ アパレル業界団体 ✓ 故繊維事業者（2社） <u>（3）循環型ファッションの推進に向けたアクションプラン（仮称）の取りまとめに向けた方針の検討</u>
第2回 （1月頃）	<u>（1）マテリアルフロー・KPIに関する検討を行うワーキンググループにおける検討結果の報告</u> <u>（2）地方自治体・業界関係者へのヒアリング</u> ✓ 地方自治体 ✓ 繊維リサイクル事業者 <u>（3）アクションプランの骨子に関する検討</u>
第3回 （3月頃）	<u>（1）衣類の資源循環システム構築に関する調査結果等の報告</u> ✓ 今年度調査結果（ヒアリング等）の報告 ✓ 使用済衣類回収のシステム構築に関するモデル実証事業の成果に関する報告 <u>（2）アクションプラン（案）に関する検討</u>

※議題は現時点の想定であり、内容の変更・組み換え等の可能性がございます。